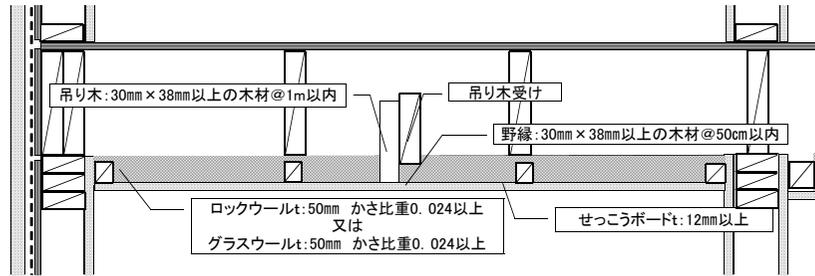


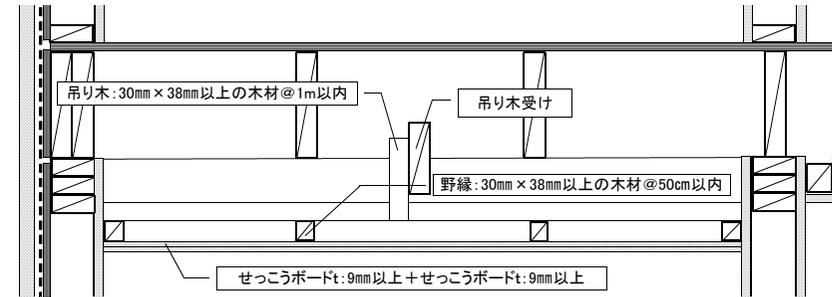
枠組壁工法を用いた住宅等の省令準耐火構造の仕様の改正に伴い追加する仕様例

● 野縁を用いた天井とする場合

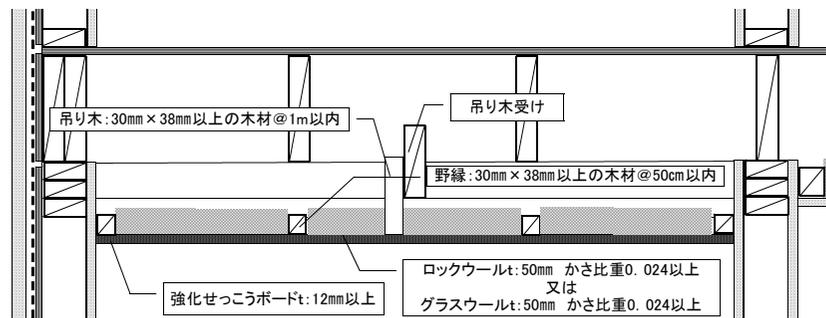
1 断熱材で天井内を区画する場合



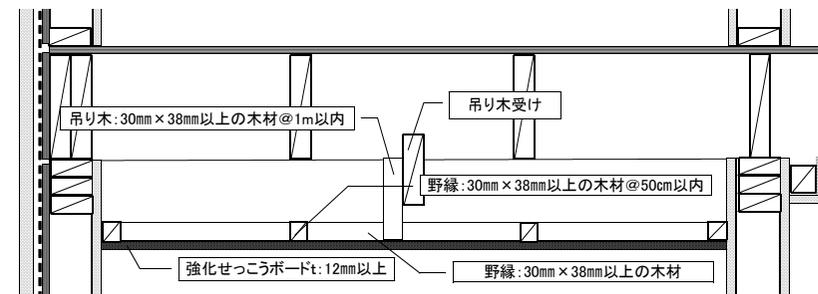
2 せっこうボード2枚張りの場合



3 強化せっこうボードとロックウール等を施工する場合



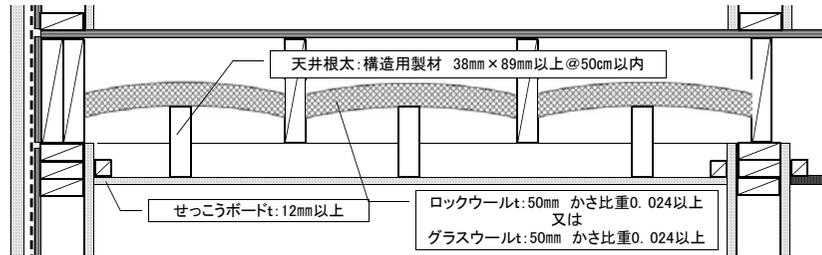
4 強化せっこうボードと当て木で補強する場合



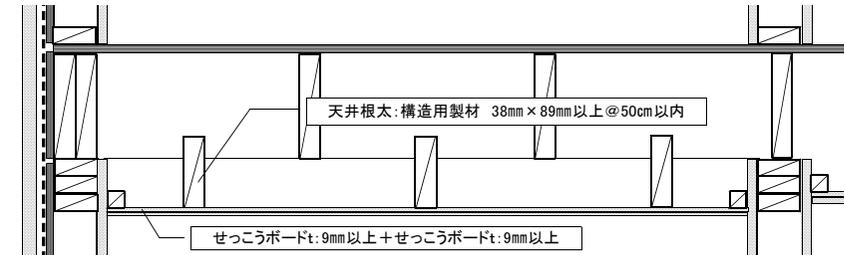
枠組壁工法を用いた住宅等の省令準耐火構造の仕様の改正に伴い追加する仕様例

● 天井根太を用いた天井とする場合

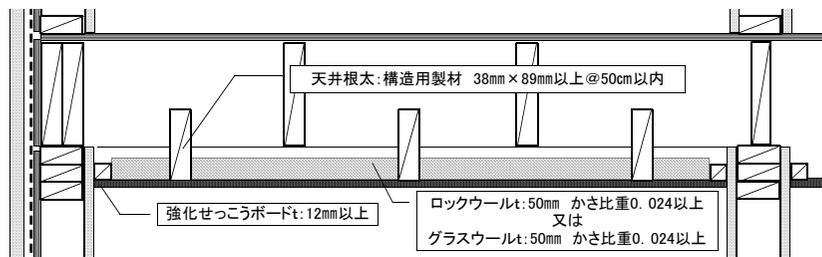
1 断熱材で天井内を区画する場合



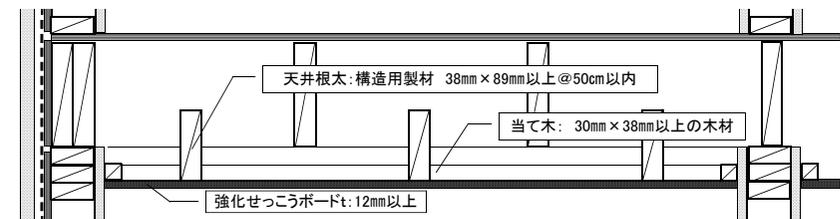
2 せっこうボード2枚張りの場合



3 強化せっこうボードとロックウール等を施工する場合



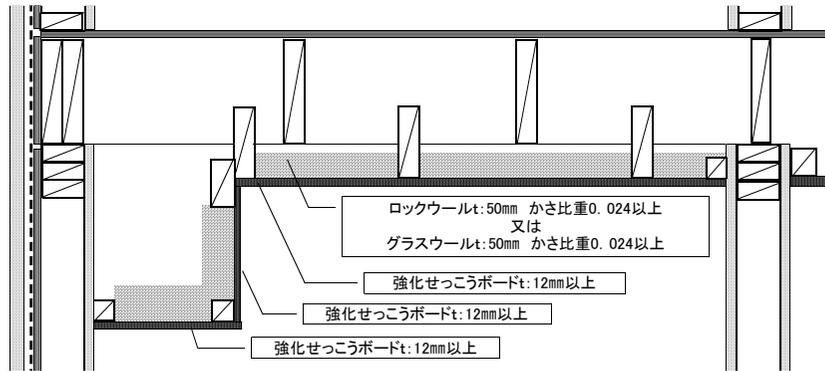
4 強化せっこうボードと当て木で補強する場合



枠組壁工法を用いた住宅等の省令準耐火構造の仕様の改正に伴い追加する仕様例

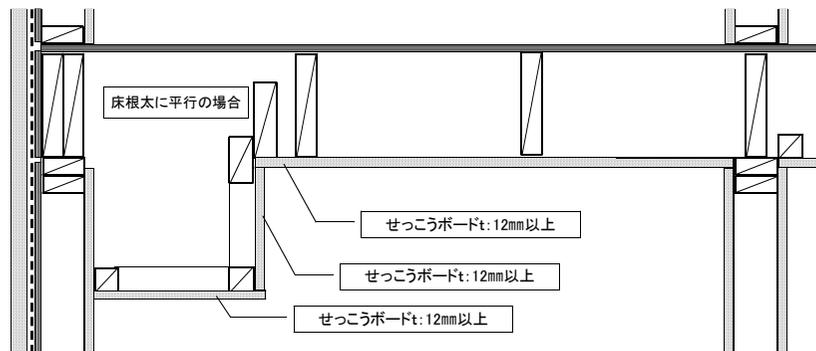
● 下がり天井の場合

<吊天井による仕様>



前2頁の2、3、4の仕様については、それぞれ定められた天井の下地材料と同一仕様で下がり天井を作ること。

<直張り天井等天井内の根太間の区画が必要な仕様>  
床根太と平行な下がり天井を設ける場合  
(下がり天井の見付け面の短辺を1m以内とする。)



床根太と直交する下がり天井を設ける場合  
(下がり天井の見付け面の短辺を1m以内として、ファイヤーストップ材等を設置する。)

